

平成23年行政事業レビューシート

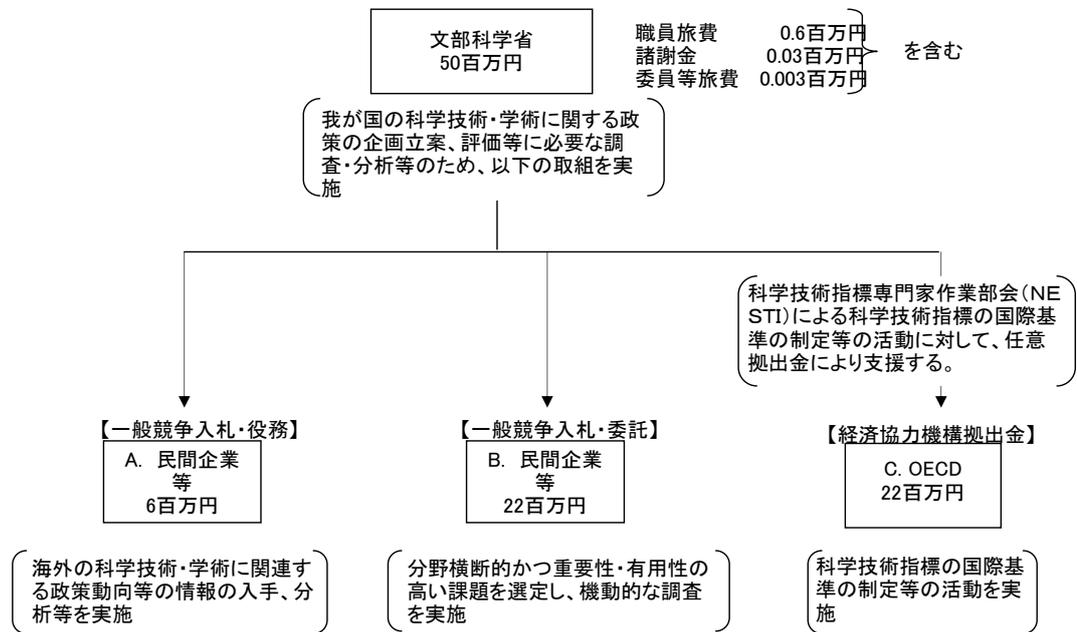
(文部科学省)

事業名	政策の企画立案等に必要な国内外の動向調査・分析等		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	計画官付		計画官 阿蘇隆之		
会計区分	一般会計		施策名	VII-3. 科学技術システム改革の先導				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の科学技術・学術の企画立案、評価等に必要な国内外の科学技術・学術政策動向の調査・分析等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国の科学技術・学術に関する政策の企画立案、評価等に必要な調査・分析等のため、以下の取組を実施する。 ・海外の科学技術・学術に関連する政策動向等の情報の入手、分析等 ・政策の企画・立案・推進等に貢献するため、文部科学省における科学技術イノベーション政策に係る所掌事務のうち、分野横断的かつ重要性・有用性の高い課題を選定し、機動的に調査 ・OECD科学技術政策委員会の下に設けられている科学技術指標専門家作業部会(NESTI)による科学技術指標の国際基準の制定等の活動に対して任意拠出金により支援し、科学技術指標の国際的基準を定めるイニシアチブをとり国の科学技術政策の立案に資する指標の整備							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算				50	47	
		繰越し等				0		
		計				50	47	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	政策立案のための内外動向に係る調査・分析を目的とする当事業は、科学技術行政の基盤となるものであり、定量的な成果指標の設定になじむものではない。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	政策動向の情報入手、機動的な調査に関しては、その時点で重要性・有用性の高い課題を複数選定して情報収集・分析及び調査を機動的に行うこととしているため、全て共通した定量的な活動指標を示すことは困難であり、定量的な活動指標の設定はなじむものでない。 NESTIは、各国の行政官、統計専門家等の参加により科学技術指標の開発等の検討を行っており、そうした中で本事業によるNESTIへの貢献度を取り出して評価することは困難であり、定量的な活動指標の設定はなじむものでない。		活動実績 (当初見込み)	調査の実施数				() ()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.03百万円	0.03百万円					
	職員旅費	0.6百万円	0.6百万円					
	委員等旅費	0.003百万円	0.003百万円					
	庁費	6百万円	4百万円					
	科学技術調査資料作成委託費	22百万円	20百万円					
	経済協力開発機構拠出金	22百万円	22百万円					
計	50百万円	47百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度の行政事業レビューの指摘事項を踏まえ、科学技術・学術に関する政策の企画立案、評価等に必要な調査・分析に関する事業を整理統合するとともに、調査テーマ数・決定手法の見直しや契約の競争性、公平性、透明性の確保等により、予算を縮減した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 民間企業等			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	海外文献の翻訳等、情報収集料	6			
計		6	計		0
B. 民間企業等			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
科学技術調査資料委託	科学技術・学術に関する分野横断的な政策の企画立案のための調査	22			
計		22	計		0
C.OECD			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	OECD/NESTIによる科学技術指標の国際基準の制定等の活動	22			
計		22	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0